

授業科目	宿泊産業論						実務家教員担当科目	○			
単位	2	履修	選択	開講年次	3		開講時期	前期			
担当教員	角谷 尚久										
授業概要	ホスピタリティ産業の総合体として位置づけられる宿泊業（ホテル・旅館など）について、その発展と歴史と運営の知識、ホテル経営の特性と現状、課題などを概説する。 21世紀を迎え、ますます成長、発展する宿泊産業を現在から将来について様々な観点から学び、宿泊産業を取り巻く具体的な変化や影響を理解する。 尚、授業においては視聴覚教材を利用する場合、並びに外部講師による講義を行う場合がある。 本科目は講義形式にて行うがアクティブラーニングの手法を取り入れ、毎講義ごとにレスポンスシートの提出を求める。 実務家教員として、航空産業や旅行産業での25年以上の経験を活かして、社会人になる為の意識改革、基本的実務を教授する。										
授業形態	対面授業（一部オンデマンド）				授業方法	対面ならびにオンデマンド ICTを活用し、Google クラスルームによる理解促進並びに自主学習支援を行う					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	1. 宿泊産業の業務概要を理解する。 2. 宿泊産業の歴史と意義を理解する。 3. 宿泊産業の地域に与える経済・社会・文化面での影響を考察する。 宿泊産業の歴史と発展過程を正しく理解し、利用する際にその知識を有効に活用できる。										
理想的レベル	宿泊産業の歴史と発展過程を正しく理解し、将来宿泊産業を目指す人にとって即戦力となりうる知識と実務を習得できる。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）				備考				
試験			50								
小テスト											
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物			30								
その他			20								
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	T031110J
学習課題（予習・復習）										1回の目安時間（時間）	
復習：該当箇所の復習										4	
授業計画											
第1回	オリエンテーション シラバスの内容、講義の進め方、受講上の注意の説明										

第2回	日本のホテルの誕生と歴史 ①ホテルの語源 ②ホテルの種類
第3回	ホテルの語源と分類Ⅰ 日本におけるホテルの起源と歴史
第4回	ホテルの語源と分類Ⅱ ホテルの分類
第5回	宿泊部門の経営Ⅰ（Ondemand） 宿泊経営の特質
第6回	宿泊部門の経営Ⅱ（Ondemand） 客室利用率・稼働率
第7回	料理・飲料部門Ⅰ 料理・飲料営業の特質
第8回	料理・飲料部門Ⅱ レストラン経営
第9回	マーケティングと販売促進
第10回	管理部門[総務・人事・経理・FBC・購買・技術部]（外部講師）
第11回	経営分析指標
第12回	経営理念・行動理念・経営方針・戦略・戦術（施策）について
第13回	21世紀にむけてのホテル経営（Ondemand）
第14回	地域におけるホテル経営を考える
第15回	総まとめ
テキスト	テキスト：資料は講義中に配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考文献：「ホテル経営教本」鈴木博・大庭 祺一郎 柴田書店 2005 年
課題に対するフィードバックの方法	期末テストに加えて、レポート・授業への参加度を踏まえ、総合的に判断する。 成績発表後に評価点分布図を提示する。
学生へのメッセージ・コメント	新聞やメディア等を通じ、宿泊産業等に関する情報を積極的に入手すること。 シラバスは授業の進行状況により変更することがありますので、予めご了承ください。 3年前学期では就職に向けた情報収集が大切です。ホスピタリティ産業の中でも中核をなす宿泊産業に興味のある学生はこの講義での学びを是非活用してください。